

利用者のみなさまにご不便をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。NII-ELSの終了にともない学協会との調整が必要な論文を除き、従前通りのサービス（ダウンロード機能を含む）を再開しました。詳細についてはこちらをご覧ください。

マスク着用によるインフルエンザ予防のエビデンスはあるか?-EBMによる検討- Evidence of Facemask for Prevention of Influenza Infections



瀧澤 毅

TAKIZAWA Tsuyoshi

千葉科学大学薬学部薬科学科

Department of Pharmaceutical Sciences Faculty of Pharmacy Chiba Institute of Science

この論文にアクセスする



CiNii 論文PDF
オープンアクセス



機関リポジトリ

この論文をさがす

医中誌Web

医中誌Web



NDL-OPAC



CiNii Books

抄録

マスクを着用することがインフルエンザ感染予防に有効であるというエビデンス(科学的根拠)があるのかEBMの方法により検討した。そのため本学図書館から利用できる医中誌、JMEDPlus、医学・薬学予稿集データベース、日経メディカルオンライン、MEDLINE、Cochrane Libraryを検索し、インフルエンザと呼吸器感染症に対するマスク着用の予防効果について、臨床論文を抽出しエビデンスを評価した。マスク着用がインフルエンザや他の感染症予防に有効であることを検証した推奨度A、エビデンスレベル1bのランダム化比較試験のエビデンスはない。これまでマスク着用のインフルエンザ感染症予防を検証するランダム化比較試験が香港とシドニーで実施されたが、いずれもマスク着用と非着用のインフルエンザ感染発症率に統計的有意差はなかった。推奨度B、エビデンスレベル2aの観察研究ではインフルエンザ予防に有効であることを示す非ランダム化比較試験とコホート研究のエビデンスがある。また、SARS感染予防に有効である可能性を示唆する推奨度B、エビデンスレベル3aの症例対照研究のメタアナリシスによるエビデンスもある。一方、手洗いの小児肺炎などの感染症予防効果については、推奨度A、エビデンスレベル1bのランダム化比較試験のエビデンスがある。WHOや米国CDCのインフルエンザ予防ガイドラインはマスク着用よりも手洗いを重視しているが、これは両者の予防効果のエビデンスレベルの違いを反映させたものである。

CiNii利用者アンケート
を実施しています。



ご協力おねが
いします!



実施期間 11/13[月]~12/22[金]

ツイート

6



各種コード

NII論文ID(NAID) :
110007543517

NII書誌ID(NCID) :
[AA1230240X](#)

本文言語コード :
JPN

資料種別 :
Departmental Bulletin Paper

雑誌種別 :
大学紀要

ISSN :
18823505

NDL 記事登録ID :
10613266

NDL 雑誌分類 :
ZM2(科学技術--科学技術一
般--大学・研究所・学会紀要
)

NDL 請求記号 :
Z74-F774

データ提供元 :
NDL NII-ELS IR

書き出し

[RefWorksに書き出し](#)
[EndNoteに書き出し](#)
[Mendeleyに書き出し](#)
[Refer/BibLXで表示](#)
[RISで表示](#)
[BibTeXで表示](#)
[TSVで表示](#)

問題の指摘

CiNiiについて

ヘルプ

新着情報

NIIのコンテンツサービス

C
i
n
i
i



千葉科学大学紀要

千葉科学大学紀要 3, 149-160, 2010-02-28

千葉科学大学

国立情報学研究所 (NII)

学研究費助成事業データベース
術機関リポジトリポータル
電子リソースリポジトリ